

～IMFは2023年の世界の経済成長率見通しを下方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は10月11日に発表した「世界経済見通し」で、2022年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを3.2%に据え置いた一方、2023年の同見通しは2.7%と2022年7月に示した前回の数値から0.2ポイント下方修正しました。歴史的な高水準で推移する物価上昇率とその抑制を目的とした金融引き締め政策、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格の高騰などが経済の逆風となっています。

2023年について国別では、先進国の経済成長率見通しが1.1%と前回の数値から0.3ポイント下方修正されました。特にユーロ圏は、ロシアによる天然ガス供給の制限などの影響により前回の数値から0.7ポイントの大幅な下方修正となりました。一方、米国は1.0%と前回の数値が据え置かれ、日本は1.6%と0.1ポイントの小幅の下方修正にとどまりました。新興国の経済成長率見通しは3.7%と前回の数値から0.2ポイント下方修正されました。中国の経済成長率見通しは4.4%と、ゼロコロナ戦略に基づくロックダウンなどの影響により前回の数値から0.2ポイントの下方修正となりました。

また、2022年の世界の物価上昇率は8.8%と前回の数値から0.5ポイント上方修正されました。2023年には6.5%、2024年には4.1%に低下すると予測されているものの、物価の上昇圧力は依然として大きく、今後の各国の物価動向と、物価上昇率の抑制を目的とした金融引き締め政策の動向に引き続き注目が集まります。

◆ IMF「世界経済見通し」(2022年10月時点)

	IMF見通し			
	2022年	前回比	2023年	前回比
世界	3.2%	0.0%	2.7%	-0.2%
先進国	2.4%	-0.1%	1.1%	-0.3%
米国	1.6%	-0.7%	1.0%	0.0%
日本	1.7%	0.0%	1.6%	-0.1%
ユーロ圏	3.1%	0.5%	0.5%	-0.7%
新興国	3.7%	0.1%	3.7%	-0.2%
中国	3.2%	-0.1%	4.4%	-0.2%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。